

2 項目別評価

大項目	小項目	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置		A	
	1 医療サービス		
	(1) 良質な医療の実践	こども病院 3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。なお、「地域周産期母子医療センター」の認定や小児入院医療管理料1の取得、手術件数の増加など、良質な医療の実践として、高く評価できる。
		福岡市民病院 3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。なお、高度救急医療への対応強化や手術総件数の大幅増加、臓器別センター化への取組みなど、良質な医療の実践として、高く評価できる。
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院 3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。なお、地域医療への貢献に関しては、公立病院が果たすべき役割として、地域の医療機関から大きな期待が寄せられており、今後とも、病病・病診連携への積極的な取組みは、大きなウエイトを占めることから、ウエイトを「3」に修正する。
		福岡市民病院 4	地域医療連携室の機能強化を図ることにより、積極的に病病・病診連携の推進に努め、紹介率、逆紹介率ともに目標値を上回る成果をあげ、「地域医療支援病院」として指定されるなど、計画を大きく上回る成果をあげていることから、「評価4」が妥当である。なお、地域医療への貢献に関しては、公立病院が果たすべき役割として、地域の医療機関から大きな期待が寄せられており、今後とも、病病・病診連携への積極的な取組みは、大きなウエイトを占めることから、ウエイトを「3」に修正する。
	(3) 災害時等の対応	4	年度計画に従って概ね目標が達成されるとともに、東日本大震災に当たっては、物資の提供や医療派遣チームの派遣など迅速な対応を行ったことから、「評価4」が妥当である。
	2 医療の質の向上		
	(1) 診療体制の強化・充実	こども病院 3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。
		福岡市民病院 4	年度計画に従って概ね目標が達成されるとともに、救急診療室の拡張や臓器別センター化の検討、栄養管理体制の充実を図り、成果を上げていることから、「評価4」が妥当である。
	(2) 病院スタッフの確保と教育・研修	4	人材確保が困難な中、年度計画に従って概ね目標が達成されるとともに、当直明け医師の有給職免制度や育児短時間勤務制度などの導入による処遇改善や教育・研修体制の充実など積極的に取り組まれていることから、「評価4」が妥当である。
	(3) 信頼される医療	3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。なお、信頼される医療に関しては、公立病院として良質な医療を提供することが重要であることから、ウエイトを「2」に修正する。
	3 患者サービス		
	(1) 患者サービスの向上	こども病院 3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。
		福岡市民病院 3	目標値には達していないものの、評価できる数値に達していることから、「評価3」とする。ただし、アンケートの内容及び方法については、両病院の整合性を考慮し、今後見直しを検討していただきたい。
	(2) ボランティアとの共働	こども病院 4	積極的にボランティアの協力を得て、院内コンサートを前年度より大幅に増やすなど、院内での過ごしやすい環境作りに取り組んだことから、「評価4」が妥当である。
		福岡市民病院 3	ボランティアの協力により、実績としては、前年を上回ることができており、「評価3」が妥当である。
	4 法令遵守と情報公開	3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。

大項目	小項目	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置		A		
	1 運営組織	3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。ただし、看護師等の経営参画に当たっては、毎月法人本部で行われる経営会議等に看護部長を出席させるなど、実質的な経営参画の手法について、検討が必要である。	
	2 収支改善			
	(1) 増収			
		こども病院	4	患者数は、前年度より減少したものの、看護体制の充実や手術件数の増加等により、入院診療単価の上昇など、大幅な増収を達成することができたことから、「評価4」が妥当である。
		福岡市民病院	4	
	(2) 費用削減	3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」が妥当である。	
	3 人事・給与	4	給与水準の適正化に向けた組合との協議を精力的に行うとともに、職員のモチベーションの維持・向上につながる人事評価制度の創設、自由な雇用形態が選択できる有期職員の配置など、働きやすい環境作りが行われており、「評価4」が妥当である。	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置		A		
	経営基盤の確立	4	法人本部における「経営会議」において、月ごとの経営状況を検証するとともに、各病院においても院内幹部による運営委員会等において細部にわたって経営管理を徹底したことで、目標を大幅に上回る増収となっていることから、「評価4」が妥当である。	
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置		A		
	1 新病院に向けた取組	—	福岡市側の依頼により、半年以上の中断を余儀なくされたことから、PFIの対象外となる新病院医療関連運営業務に係る調査・分析など、検証の結果に左右されないものについての取組みが進められていたが、当初平成22年度中に行う予定であった事業については、実績に結びついていないため、平成22年度の評価は行わない。 事業中断の影響により、開院時期が遅れることとなるが、1日でも早い開院に向け、事業の進捗を図っていただきたい。	
	2 福岡市民病院の経営改善の推進	4	大幅な増収、費用縮減が図れており、「評価4」とする。	

<参考> 項目別評価基準

※小項目評価(5段階)

評価5	年度計画を大幅に上回って実施している
評価4	年度計画を上回って実施している
評価3	年度計画を順調に実施している
評価2	年度計画を十分に実施できていない
評価1	年度計画を大幅に下回っている

※大項目評価(5段階)

評価S	中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある (評価委員会が特に認める場合)
評価A	中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる (すべての小項目が評価3～5)
評価B	中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる (評価3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)
評価C	中期計画の実現のためにはやや遅れている (評価3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)
評価D	中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある (評価委員会が特に認める場合)